

「イキイキ子育てクラブ」で楽しい時間を過ごしましょう！

地域子育て支援センター（藤田保育所）では、令和8年度もイキイキ子育てクラブを行います。戸外遊び、親子ふれあい遊び、人形劇鑑賞、手作り玩具遊び、スタンプ遊び、ハロウィン製作、クリスマス会、お正月遊びなどです。また、その他に誕生会があります。興味のある方は、ぜひ参加ください。

- 期間 令和8年5月～令和9年2月まで
- 会場 藤田保育所
- 対象者 就学前のお子さんとその保護者や家族
- 申込み 4月24日☎までに藤田保育所（☎585-2374）にご連絡ください。（土日、祝日を除く午前9時～午後4時まで）
※年度途中でも会員申し込みは可能です。

健康キッズ

2月に実施した3歳6か月児健診で、むし歯が1本もなかったお子さんたちです。



Kunimi's Baby

国見町で生まれた赤ちゃんです！



みずの もか 水野 桃歌 ちゃん (R7.12.3生)

【名前の由来】

桃のように可愛らしくすくすく育って欲しい

【ご家族からのメッセージ】

何事もなく無事産まれてきてくれてありがとう 一日一日を大切に生きていこうね



子育てインフォメーション

1歳6か月児健診

- 日時 5月26日☎ 午後1時30分～午後3時30分頃
- 受付 午後1時20分～午後1時30分
- 会場 観月台文化センター
- 対象者 令和6年9月1日～令和6年11月30日生まれ

ニコニコ相談会

- 日時 5月13日☎ 午前10時～午前11時30分
- 会場 子育て支援センター（藤田保育所内）
- 対象者 国見町在住の妊婦、国見町在住の乳児及び保護者
- 持ち物 母子健康手帳、子どもの飲み物
- 申込み 前日までに福祉課子育て支援係または藤田保育所（☎585-2374）へ連絡

【物価高対応子育て応援手当】公務員の方は申請が必要です

国の「物価高対応子育て応援手当」において、公務員など所属官公庁から児童手当を受給している方は、申請が必要となります。申請の際は、職場から児童手当の受給状況に係る証明を受けた申請書と身分証、振込口座がわかるもの（通帳やキャッシュカード）をご準備のうえ、3月31日までにお手続きしてください。



町HP

くにみ子育てひろば

子育て情報
をお届け！

今月の対象は

出産まで 新生児 乳幼児 小・中学生

☎こども家庭センター（福祉課子育て支援係内）☎585-2179

「食事の困りごと」～こんな時、どうしたらいい？～

乳幼児期は、体だけでなく「食べる力」も育つ大切な時期です。乳児期は母乳やミルクを飲んで過ごしますが、5～6か月ころから離乳食が始まります。この時期の食事は、栄養をとることに加え、「食べることに慣れる」「食事の時間を体験する」大切な機会でもあります。

一方で、好き嫌いや食事中の行動などに不安を感じる保護者の方も少なくありません。ここでは、日常的に見られる食事に関する悩みと、その対応の一例をご紹介します。



Q1 同じものばかり食べるけど大丈夫？

同じ食材だけを繰り返し食べる「ばっかり食べ」は、お気に入りの味や食感に出会えた証拠でもあります。幼児期に入ると、少しずつ興味の幅も広がっていくため、心配し過ぎる必要はないでしょう。長い目で見て、食の経験を増やしていきましょう。

Q2 ベビーフードは使ってもいい？

もちろん大丈夫です。忙しい毎日の中で、保護者がゆとりを持てることはとても大切。市販のベビーフードを上手に取り入れることで、気持ちにも時間にも余裕が生まれます。「手作りでなければならない」と思い詰めず、家庭に合った方法を選びましょう。

Q3 イヤイヤ期の食事、どう対応する？

イヤイヤ期とは、自我が芽生えた成長のサイン。「これをやりたい」という欲求と実際にできることへのギャップから「イヤ！」という行動に表れているだけ。正しい食事の仕方を無理せず教えていきましょう。小さな選択肢を与えたり、できたことをしっかり認めたりと、自己肯定感を高めてあげるとよいでしょう。

Q4 遊び食べが気になるときは？

「遊び食べ」がみられる時期は、おもちゃ、食べもの、食器といった「物の分類」がまだうまくできていません。まずは「楽しい気持ち」があることを受け止めつつ、なぜ「ダメ」なのかをしっかりと伝えて、終わりの合図や一旦食事を片付けるなど、家庭でのルールを取り入れながら、淡々と一貫した対応を心がけると伝わりやすくなります。

POINT

家族で楽しい食事時間を過ごすために大切なこと

「食べるって楽しい」を育てる

笑顔や「おいしいね」の一言が、何よりの栄養になります。楽しいを共有し、「もっと食べたい」という意欲を高めましょう。

食事のリズムを整える

食前に手を洗う・「いただきます」「ごちそうさま」を言うなどルーティンをつくることで気持ちの切り替えがしやすくなります。

一緒に食べて安心感

可能な範囲で一緒に食卓を囲み、大人がおいしそうに食べる姿を見せることは、子どもにとって良い刺激・安心感につながります。